

探究的な学びのプロセスとその活動における郷土愛醸成

地域についての学習で、地域の魅力・素晴らしさを知ったり、地域との結びつきを感じたりすることは、郷土愛につながるんだね。



- 1 学校名(学年)：新庄市立萩野学園(第9学年)
- 2 単元(テーマ)名：はぎの探究タイム ～新庄・萩野の未来づくりプロジェクト～ (税グループの活動について)
- 3 活動の概要

新庄市を元気にするために自分たちができることについて、探究的な学びを展開し、将来新庄市や地域に貢献できる生き方について考える。

4 探究的な学びのプロセスにおける、郷土愛醸成につながる活動

①課題設定



- 探究のプロセスにおける主な活動
 - ・SDGsとの関連から、地域のよさや問題点を考える。
 - ・同じ課題を持った者同士でグループを作り、現状の調査から始める。
- 活動における郷土愛につながるポイント
 - ・明確な視点を持って地域のよさや問題点を考えることで、地域のよさや魅力を知ることにつながる。
 - ※課題を「活気ある新庄市にするための税収アップ」と設定した。

②情報収集



- 探究のプロセスにおける主な活動
 - ・課題解決のため、地元企業を訪問して情報収集する。
- 活動における郷土愛につながるポイント
 - ・訪問取材により、企業理念や企業努力、苦労などを知ること、地域の方の想いも含めた魅力・素晴らしさを知ることにつながる。

③整理・分析



- 探究のプロセスにおける主な活動
 - ・課題解決に向けて、地元企業の活性化を図るため、調べた企業のよさをアピールする資料を作成し、プレゼンテーションする。
- 活動における郷土愛につながるポイント
 - ・整理・分析した企業のよさのアピールを考えることで、自分事として考えるようになり、地域(企業)との結びつきを感じることに繋がる。
 - ※プレゼンテーションの結果選ばれた企業へ自分たちが育てた里芋の収益金を寄付したことで大変喜ばれ、その後の活動にも協力いただいた。

④まとめ・表現



- 探究のプロセスにおける主な活動
 - ・修学旅行先の東京で地元企業の商品をアピールしたり、全校児童・生徒を対象にしたプレゼンテーションを行い、意見をもらった。
- 活動における郷土愛につながるポイント
 - ・自らがプレゼンテーションした内容を他者に認めてもらうことで、自分が地域社会に貢献している実感を得ることができ、地域との結びつきを感じることに繋がる。

